

■ AI×手話プロジェクトの目的・目標は以下のとおりとします。

背景

Sapporo AI Lab

【目的】

- AI関連技術を活用した新たなビジネス創出を促進
- AI関連企業の集積と起業を促進
- AI関連人材の確保・育成及び更なる集積を促進
- AI関連技術の社会実装*を促進

【目指す姿】

- AI社会実装を先導する都市「さっぽろ」

【機能】

- AIに関する研究・開発、人材の確保・育成

- 産学連携・企業連携プロジェクトのコーディネート

札幌市障がい者コミュニケーション条例*

【目的】

- 障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進し、もって障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する

【施策（利用促進）】

- コミュニケーション手段の利用機会を拡大するための施策
- コミュニケーション支援者を確保し、または養成するための施策

【事業者の役割】

- 市の施策への協力

AI×手話プロジェクトの目的・目標

- AI関連技術を活用して、ろう者（手話言語）と健聴者（音声言語）とのスムーズな意思伝達・コミュニケーションを図るシステムを構築する
- 構築したシステムは、将来的に製品化し、手話通訳者派遣制度を補完する取組として、主に銀行窓口や販売店など民間事業者を中心とした展開を図ることで、社会実装を実現する
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの適用を契機に利用拡大を図る

*札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例